



(実施概要)

地域リーダー等養成講座 ぎのわん地域づくり塾2025



令和8（2026）年3月

主催：宜野湾市／市教育委員会

協力：社会福祉法人宜野湾市社会福祉協議会

企画・運営：NPO法人まちなか研究所わくわく

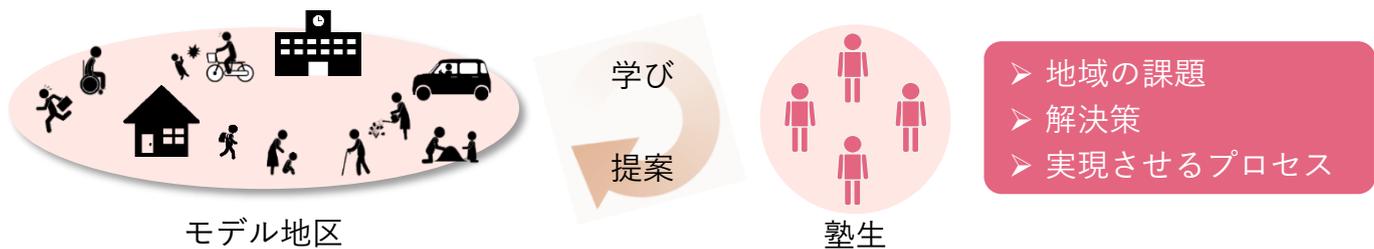


地域リーダー養成プログラム

宜野湾市では、地域に暮らす多様な人々が、何らかの活動やコミュニティに関わり、参加することで「このまちに住んで良かった」と思える「誇りと愛着の育まれるまちづくり」の実現を目指しています。そのためには、地域に多様な人々が集い、話し合うしかけをつくる「地域リーダー」や「地域コーディネーター」が必要です。

今年度は「大謝名小学校区」をフィールドに、今ある活動とコミュニティを知り、新たな地域活動を行う知識やつながりをつくるため、第8期となる「ぎのわん地域づくり塾2025」を開催しました。本塾では、地域の活動を知る講座、スキルアップ講座、フィールドワーク、チームによる企画づくりを通じて、モデル地区（大謝名小学校区）の地域課題をとらえ、解決のための企画提案を行う過程から、地域リーダーとなる人材を育成します。

地域づくりのプロセスを大切にする 地域リーダーの養成



地域の活動を知る

地域のステークホルダーが集う地域円卓会議や、校区内で活動する団体が活動発表や講座を行うことで、今、地域にある活動と困りごとを学びます。

企画づくり

塾生同士でチームに分かれ、地域を調べ、地域課題の仮説を立て、検証し、解決策の企画立案を行います。

フィールドワーク

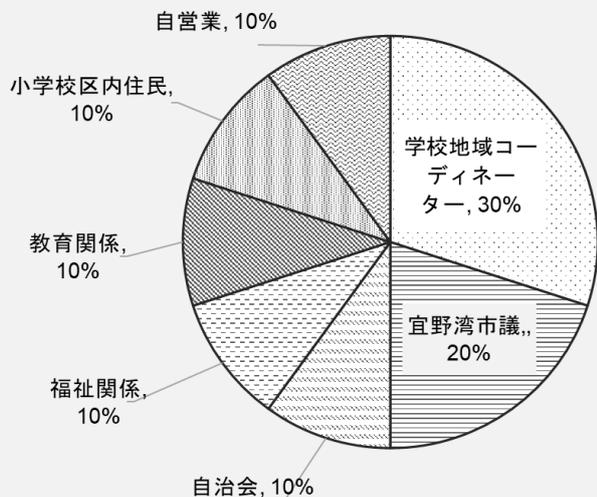
モデル地区を実際に歩くことで、地域課題や地域資源を発見し、確認し、掘り下げるためのフィールドワークを行います。

スキルアップ講座

県内の地域づくり実践者が講師となり、地域の資源を活かすためのファシリテーションや企画づくりのスキルについて学びます。

8 期 塾生 9 名修了 (要件：4回以上の講座出席かつ企画づくりに参加)

宜野湾市の協働による地域づくりに関心のある市内外の方を対象に、塾生の募集を行いました。その結果、公開講座には29名の方々にご参加頂き、企画立案チームに所属した受講生は10名でした。



第1～8期修了生 **159** 名



國吉春香さん
自営業

公民館に子どもの居場所を

家の近くに公民館があり、たまたま行った時にこんなに良いところがあったんだと気づき、公民館で子どもたちとできることはないかとずっと考えていました。今回、地域づくり塾に参加できて専門家から学び、これだと思って、ママ友にアンケートをとったり、リアルな声を聞いたりして子どもの居場所の実現に向けて進めているところです。公民館で子どもたちが安心して過ごせるといいなと思います。少しずつ始めて、回数を増やしていけたらと思います。



**異業種、異分野の
メンバーがチームで
学び合う**

行政、民間、福祉、自治会等、異なる専門性を持つ方々とチームで学び合います。



**地域の現場（小学校区）で
学び、
地域へ提案する**

地域の方々とも話し合い、2ヶ月間かけて、地域の課題を探し、解決策を提案します。



**宜野湾市での
地域づくりの仲間と
ネットワーク**

塾生同士や地域の方々との関りだけでなく、修了生159名とのネットワークが広がります。

第8期のモデル地区（大謝名小学校区）

浦添市牧港と隣り合う宜野湾市の南西に位置する住宅街で、3つの行政区、5つの自治会（大謝名区、上大謝名区、嘉数ハイツ、大謝名団地、宇地泊区の一部）にまたがり、5自治会の人口は5,620世帯、11,199人（一部校区外も含む）です。校区内の5公民館（自治公民館、公設公民館、団地事務所）を自治会が管理・運営しています。大謝名はかつて農村地域でしたが、戦後は米軍基地の関係者で急速に人口が増え、軍用地の解放に伴う開発もあり、現在ではベッドタウンとなっています。大謝名小学校は、嘉数小学校と大山小学校の児童増加に伴い1976年に創立、現在は児童数544名の学校です。



図の引用：宜野湾市市勢要覧 2014



眞志喜 初枝さん
大謝名区自治会
会長

皆で地域を考える

すごく楽しい講座でやる気がわいてきました。今回の講座で、目的をしっかり立て企画を立てていくことを学びました。参加した皆が大謝名区のことを考えてくれたので、とてもうれしかったです。今回発表したことを自治会で現実にしていくことで、きっと地域が今より活性化していけるような気がします。



宮城 優さん
宜野湾市議

子ども達から地域を繋ぐ

地域にいる子育て世代、女性目線での意見が聞け、新しい発見が多々ありました。世代をいかに繋ぐかは、地域の子ども達がキーポイントになると思いました。自分の住む地域以外の各行事にも参加していきたいです。

目的を見直す広い視野を

チームメンバーにも恵まれ、あっという間の講座でした。大謝名区地域に愛着が沸き、今後も関心を持って情報を知りたいと思うようになりました。誰のための企画かという目的設定からチームで話し合いを重ね、内容が変化していく過程を通して、設定したものを検証する、広い視野を持つことの大切さを学びました。

地域とつながること

地域とつながりたいという希望を叶えることができました。地域の素晴らしい方々に出会うことができただけでなく、企画書作成の考え方がとても勉強になりました。自分でも参考にしたいし、生徒たちにも伝えたいと思いました。



新垣 侑佳さん
嘉手納町
社会福祉協議会



平野 由紀子さん
興南高校 教員

ぎのわん地域づくり塾カリキュラム

「ぎのわん地域づくり塾」では、公開講座、全9回の連続講座（ゼミ含む）を通して、大謝名小学校区に今ある活動を知り、地域課題の仮説を立て、フィールドワークやスキルアップ講座を通して課題を探り、地域で人が集い話し合う場を企画提案する過程から、地域リーダーとしてのスキルを学んでいきました。

地域リーダーの人材像

地域づくりのプロセスを大切にし
関係団体や住民と協力して活動することで
企画を立案し、地域コミュニティの
課題解決に向けた動きをつくりだす人材

協働による地域づくりの「プロセス」



公開講座

日時 8月9日(土)
14:00~17:00
会場 大謝名小学校
くがにルーム

第1回講座

日時 9月16日(火)
19:00-21:30
会場 上大謝名公民館

第2回講座

日時 9月20日(土)
10:00-16:00
会場 大謝名小学校
くがにルーム

第3回講座

日時 9月29日(月)
19:00-21:30
会場 大謝名団地
自治会事務所

第4回講座

日時 10月11日(土)
10:00-15:00
会場 大謝名区公民館

入塾式

参加者 塾生 8名
オブザーブ3名

塾生の初顔合わせとして自己紹介と目標宣言を行い、その後2チームに分かれてテーマについて話し合いました。また、大謝名小学校区の特徴について理解を深めました。



ファシリテーションと地域調査 ／大謝名小学校区内活動発表

参加者 塾生 5名
講師 宮道 喜一
(NPO法人まちなか研究所わくわく代表理事)
活動発表 6名(7団体) ※P7に詳細あり

午前には地域づくりのプロセスにおける話し合いのスキルとして、ファシリテーションを学びました。午後は、大謝名小学校区で活動する団体から日頃の取り組みを発表し、意見交換を行いました。



子どもの居場所の 実践と課題から学ぶ

参加者 塾生 8名
講師
又吉 茂氏 (一般社団法人
宜野湾子どもゲンキ食堂 代表理事)
宮城 潤氏 (那覇市若狭公民館 館長)

宮城氏が聞き手となり、2007年から子どもの居場所「ゲンキ食堂」に取り組む又吉氏から、どのように活動が生まれ続けてきたかお話しいただき、今後の企画づくりのヒントを得ました。



今ある地域活動を知る

課題解決に向けた企画づくり

チームで企画づくり

参加者 塾生 6名

チームで取り組みたいことをより具体的に掘り下げ、テーマに沿って得たい情報の書き出しと、第6回フィールドワークに向けてチームで歩くルート決めを行いました。



中間発表

～企画のための1アクション～

参加者 塾生 8名

これまでチームで話し合ってきた企画内容と、企画を深めるための1アクションについて中間発表を行いました。塾生同士で意見を交わし、企画のブラッシュアップをしました。



チームで企画づくり

参加者 塾生 5名

チームで取り組んだ1アクションを共有し、結果を踏まえ企画のブラッシュアップを行いました。企画をどのように伝えるか、発表内容や方法についても話し合いました。



第5回ゼミ

日時 10月17日(金)
19:00-21:30
会場 大謝名区公民館

第6回講座

日時 10月25日(土)
9:30-15:00
会場 大謝名区公民館
+調べたい場所

第7回講座

日時 10月30日(木)
19:00-21:30
会場 上大謝名公民館

第8回ゼミ

日時 11月12日(水)
19:00-21:30
会場 大謝名区公民館

第9回講座

日時 11月16日(日)
10:00-16:00
会場 大謝名小学校
くがにルーム

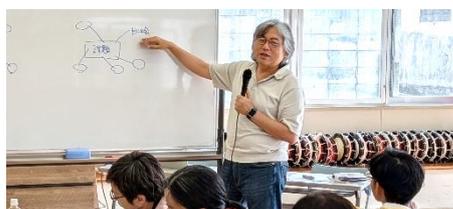
スキルアップ講座 ～企画づくり～

参加者 塾生 7名

講師 平良 斗星氏

(公益財団法人みらいファンド沖縄
副代表理事)

平良氏が企画した事業の実例を交えながら、企画のフォーマットとして1枚にまとめる企画書の構成について学びました。チームで誰のどんな困りごとを解決したいのか、取り組むテーマについて話し合いました。



フィールドワーク ～大謝名の資源を歩いて知ろう～

参加者 塾生 7名

企画づくりのテーマや対象を絞ることを意識し、チームで決めた小学校区のルートを実際に歩きました。各チームでまちを歩きながら、出会った地域の方々に聞き取りも行い、得た情報をまとめて共有しました。



最終発表・修了式

参加者 塾生 10名, 一般 13名,
事務局・主催 8名

連続講座で学んだ成果を、2チームが企画書をもとに企画提案を行いました。参加者から質問を受け、活発な意見が交わされました。その後、修了式にて修了証が授与され、全プログラムが修了となりました。



／ スキルアップ

フィールドワーク

今後の活動に向けて

公民館のあり方から考える

公開講座「誰でも使える公民館のあり方を考える地域円卓会議in大謝名」では、宜野湾市において重要な拠点である公民館が地域においてどのような役割を担うのか、子どもの遊び場を切り口に、ステークホルダー、地域住民と話し合うことで、新しい担い手へつながるしかけや自治のあり方について議論し、今後のアプローチの方向性を提案しました。



1. 公民館の可能性

大謝名公民館のエピソードから、公民館に遊びや体験活動等の「仕掛け」があることで、子どもたちと社会との出会いの場となることがわかった。学校や家庭では補いきれない安全安心な居場所が、「バッファゾーン」としての役割をすることも。さらに長い目で見ると、地域自治の新しい担い手の発掘と醸成につながる。

2. 新しい担い手とつながる仕掛け

自治会に加入していない住民等への働きかけとして、公民館に利用する子どもや親世代をハブとして、裾野を広げていくことが一つの方向性となる。常に「かかわりしろ」を意識し、住民グループへのアプローチを行い、住民同士をつなげグループ化し、公民館を活用した楽しい「仕掛け」のアイデアを得ながら、小さな成功体験を共有したい。一旦は責任や継続性等に関わらず、楽しみながら住民グループのの主体性を育もう。

3. 自治の主体性を取り戻す

公民館運営においては、「自治の本質を踏まえた姿勢」を伝えることが重要である。公民館は、自治会が一方的に会員にサービスを提供する場ではなく、住民自身も主体的に関わり、共につくりあげる「自分たちの場」として位置づけられることを伝えたい。こうした姿勢のもとで、自治会会員が「お客さん化」してしまう状況を避け、参画を自然に促す文化を育てていくことが重要である。主体的な関わり方のバリエーションを増やすことを指標として意識しよう。自治会加入率を増やす活動は指標の一つでしかないことも確認したい。

地域で集える場づくりのための企画提案

塾生が2チームに分かれ、公開講座と全9回の連続講座（ゼミ含む）を通して学んだことをもとに議論を重ね、「地域で集える場」につながる企画提案を行いました。誰がどんなことで困っているのか具体的に考え、企画として、目的（どのような企画を実施し何を達成するのか）から決め、タイトル、背景（企画意図）、企画内容等を2枚以内の企画書にまとめました。

会場には塾長である佐喜眞宜野湾市長や、たくさんの地域の方が駆けつけてくださり、激励と労いの言葉の他、企画に対する意見もいただき、最後まで実現に向けた企画のブラッシュアップをすることができました。



企画提案① 大謝名区公民館や～ぐな～カフェ

～子どもを待ちながらひとやすみしませんか～

目的・背景

大謝名区自治会に関わる30～40代の子育て世代の方が減っているなかで、すでに公民館と接点のある方を対象にカフェを開催して公民館でゆんたくすることで、30～40代の求めていること、やってみたいことを知ると同時に、自治会の取り組みをしてもらう機会とする。

企画内容

立ち寄った方の公民館で過ごす時間が長くなり、会話などの関わりが増えることを目指し、大謝名区公民館 保育室を会場に、300円でコーヒーとお菓子のセットを提供するカフェを12月から毎月1回（第2水曜日の16時～17時）開催する。アンケートや意見箱も設置する。

チーム：大謝名や～ぐな～



今、地域にある活動から考える

第1回講座、第2回講座「大謝名小学校区内活動発表」では、今ある活動と出会い、活動の現状と課題を知るため、大謝名小学校区で活動する5自治会と3団体に地域での取り組みについて発表いただきました。



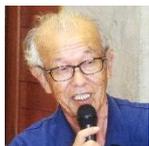
上大謝名自治会
大城 ちえ子さん

平成21年から美化活動を継続して実施している。また、市内に3団体しかない女性会は交通安全指導やメイクファッションショーなどユニークな取り組みがある他、自主防災会による防災訓練なども行っている。

民生委員児童委員が参加する地域支え合い活動委員会では、独居高齢者の見守り訪問を行い、行政や社協につなげる取り組みをしたり、真志喜中学校や大謝名小学校の交通安全立哨やあいさつ運動を行っている。



真志喜中学校区民生委員児童委員協議会



嘉数ハイツ自治会
運天 邦男さん

高齢者を対象としたミニデイでは、10名程が公民館に集まり、体操や昼食を一緒に楽しんでいる。放課後は子ども塾として、宿題をする場を提供しており、子どもから保護者世代の利用につなげたい。

宇地泊区はマンション増加に伴い、若い世代が増えている。自治会では地域の祭りに力を入れている。子ども会は役員の担い手がおらず休会中だが、自治会でクリスマス会などの行事を行っている。

/宇地泊区自治会
高良謙二さん



大謝名区自治会
眞志喜 初枝さん

市の無形民俗文化財に指定されている「獅子舞」を守る保存会があり、豊年祭での披露がある。公民館では黒板や青空ブランコの設置、映画上映会の実施など、地域の子どもたちが集まる工夫をしている。

9月に小学校区で防災フェスタを開催した。スクリレで案内し多くの参加があり、車いす体験や着衣水泳体験、災害時の食事訓練などの体験を通して学びを深めた。他にも草刈りやバザーなども行っている。



大謝名小学校PTA
山城 規子さん



大謝名団地自治会
泉川 智枝子さん

自治会と同時に実行委員会を組織し、地域の活動はその会中心に運営している。団地住民は全員自治会員であり、参加しなきゃ損だと思ってもらえるような、みんなが楽しめることを考えて活動している。

薬物等の依存症のリハビリ施設を運営している。地域でエイサーを披露することで“感謝”をもらい、精神的なケアにつながることもある。その他、草刈りなどのボランティアや、依存症防止の講演も行っている。



沖縄ダルク
佐藤 和哉さん



佐喜眞 淳
塾長/宜野湾市長

両チームともアイデアが素晴らしい。今後も企画の実践を通して市と協働し、宜野湾市を盛り上げて欲しい。



宮道 喜一
NPO法人
まちなか研究所
わくわく

地域づくりの原点は人々の声。地域に暮らす方々が何を感じて考えているか、その声を受け止めてくれる場所があるのはとても大事。ぜひ企画を実践してほしい。



平良 斗星さん
公益財団法人
みらいファンド
沖縄

イベントの参加者が公民館はどういう場所かを理解し更に公民館活用についてアイデアが出てくる。その広がりが自治への参加につながっていくのではないかな。

企画提案② 子どもが来たくなる公民館プロジェクト

～宇地泊公民館で開催されるクリスマス会の中での「公民館かくれんぼ」～

目的・背景

現在、宇地泊区公民館は高齢者が中心に利用しており、子どもの利用は少ない。宇地泊区公民館に親子で気軽に訪れるきっかけをつくることで、地域の子育て世代と公民館との接点とし、将来的には子どもの放課後の居場所づくりにつなげる。

企画内容

自治会が運営しているクリスマス会の目玉として、テレビでも人気の企画を地域版にアレンジした「公民館かくれんぼ」を実施する。地域の大人が公民館に隠れ、子どもたちが時間内に探し出すゲームで、子どもたちと保護者にとっての“公民館デビュー”を促す。

チーム：田園



関係者からみた 地域づくり塾

様々な人や組織の人材育成・発掘のために



塾長 宜野湾市

市長 佐喜眞淳

本市では、市の最上位計画である「第五次宜野湾市総合計画」の基本目標として「協働の推進による持続可能なまち」を掲げ、協働によるまちづくりを進めているところでございます。その実現のためには、一つの組織、団体では対応できない複雑化した地域課題を、様々な人や組織が関わり解決していくことが求められております。そのために当塾は、地域活動の「核」となる人材、組織の「つなぎ役」となる人材の育成・発掘を目的として開催しております。今期の課程を修了した皆様におかれましては、今後も引き続き卒塾生とともに交流会や活動にご参加くださり、協働による地域づくりの担い手、つなぎ手として、ご活躍されることを期待しております。



宜野湾市教育委員会

教育長 伊波 保勝

本市教育委員会では、学校を核とした地域づくりを進めるため、地域学校協働活動推進事業を展開し、学校と地域、人と人をつなぐ地域コーディネーターを配置しております。2025年度のぎのわん地域づくり塾においても、多くの地域コーディネータの皆さまが修了されましたことに深く敬意を表します。塾生の皆様の主体的な学びやつながりが地域における新たなつながりを生み、人と人が学び合い、支え合う環境づくりがますます推進されますことを心より期待申し上げます。



NPO法人

まちなか研究所わくわく

代表理事 宮道喜一

公民館を「用事のある人だけの場所」から、「誰でも立ち寄れる居場所」へとひらく、実践的な提案でした。かくれんぼや一杯のコーヒーから始まる関係づくりは、子どもと大人、自治会と子育て世代をゆるやかに結び直します。身近にある資源を使って踏み出せる一歩だからこそ、日常の風景として根づく可能性を感じました。この企画が、大謝名の“いつもの居場所”を育てる芽となることを期待しています。



ぎのわん地域づくり塾2025 実施概要

宜野湾市 市民経済部 市民協働課 市民協働係 TEL 098-893-4411 (内線 2223)